

日連発 21-065-1 号  
2021年4月19日

ボーイスカウト都道府県連盟  
理 事 長 各位  
県連盟コミッショナー 各位

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟  
事務局長 大久保 秀人

## 第18回日本スカウトジャンボリー（18NSJ）の開催と今後の対応について

標記に関しまして、18NSJ実行委員会では、コロナ禍において新たな様式での日本スカウトジャンボリー開催を目指し、開催方法の変更を鋭意検討しております。

従前でありましたら基本実施要領を定め、参加予定申し込みの準備を進めている時期であります。現状について下記のとおりお知らせいたしますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

### 記

#### 1. 現在の検討状況について

18NSJ実行委員会では、新型コロナウイルス感染症の収束にめどが立たず、日本全国から東京への移動や都内近郊でのプログラム展開について十分な感染症拡大の対策を講じて、現会場で日本スカウトジャンボリーを開催することは困難であると判断し、開催方法を変更して新たな様式での大会を開催するように本年3月9日開催の理事会へ提案しました。

日本スカウトジャンボリーはスカウト及び日本連盟にとって最大かつ重要な行事であり、また、コロナ禍で停滞している全国の活動が活発になる契機となるよう、次の方針により計画を変更して開催することを検討しています。

- ① 18NSJはこれまで検討してきた東京（海の森）での一箇所集合型での開催を行わず、8月の一定期間に関東圏とブロックごとに会場を設置します。各会場は、各県連盟、ブロックの協力により、十分な感染対策などスカウトの安全を確保できる規模で運営します。
- ② 2022年の夏休み期間を「ジャンボリーサマー2022（仮称）」とし、ボーイスカウト部門での長期隊野営を奨励しながら、県連盟や地区、団、隊等で実施する様々なキャンプも18NSJの一部として認定していきます。
- ③ 18NSJのプログラムは、どの会場でも共通して取り組めるものを提供し、全国で展開しながら、スカウトの進歩につなげつつ、成果を共有していきます。また、各地での開催をオンラインで繋げたり、各種記録等をオンライン上で共有することで「共有体感」をできるようにします。
- ④ 一定数の人数が集まれる場所を東京に確保し、1日型の「東京ジャンボリー大集会（仮称）」を開催し、全国から参加者が一堂に会するプログラムを実施して、スカウト運動の壮大さ、一体感、共有感をスカウトが体験できるようにします。新型コロナウイルス感染症拡大の状況により慎重に検討していきます。

#### 2. 今後の予定について

18NSJ実行委員会では、上記の方針の変更と実現可能性や予算、ブロックや県連盟への協力依頼内容等を検討のうえ、5月開催の理事会・定時評議員会へ提案する予定です。これら承認を経て、5月全国大会時の県連盟代表者会議や全国県連盟コミッショナー会議にて、開催方法の変更やブロックや県連盟への協力依頼・参加方法等について説明していく予定です。

以 上

この件に関するお問い合わせ：事務局 18NSJ 担当（平岡）

E-mail: 18nsj@scout.or.jp

Tel: 03-6913-6262